

データヘルス計画（第2期） 年次報告書

[令和5年度]

最終更新日：令和 6 年 06 月 26 日

J M A 健康保険組合

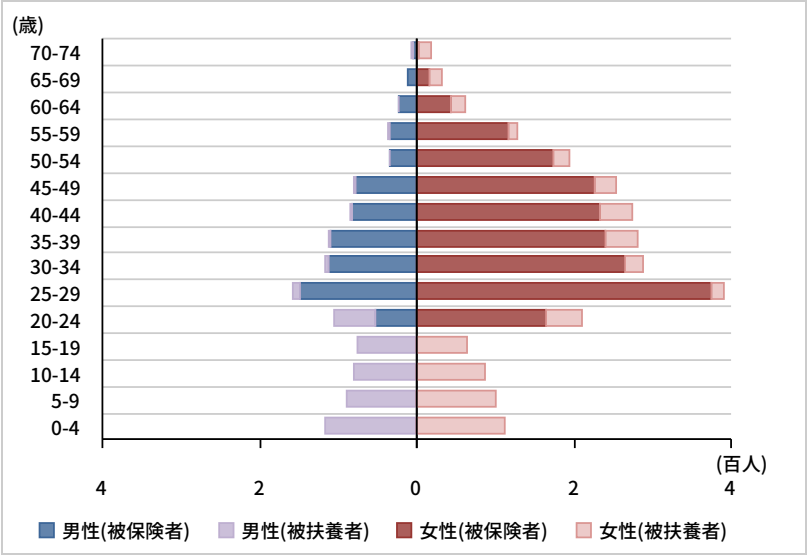
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	47306		
組合名称	J M A 健康保険組合		
形態	単一		
業種	医療、福祉		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,572名 男性27.2% (平均年齢37.4歳) * 女性72.8% (平均年齢37.8歳) *	2,631名 男性27.1% (平均年齢37.93歳) * 女性72.9% (平均年齢38.77歳) *	2,715名 男性27.3% (平均年齢38.4歳) * 女性72.7% (平均年齢38.9歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	3,617名	3,710名	3,779名
適用事業所数	1ヵ所	1ヵ所	1ヵ所
対象となる拠点数	1ヵ所	1ヵ所	1ヵ所
保険料率 *調整を含む	95.520‰	95.520‰	95.520‰

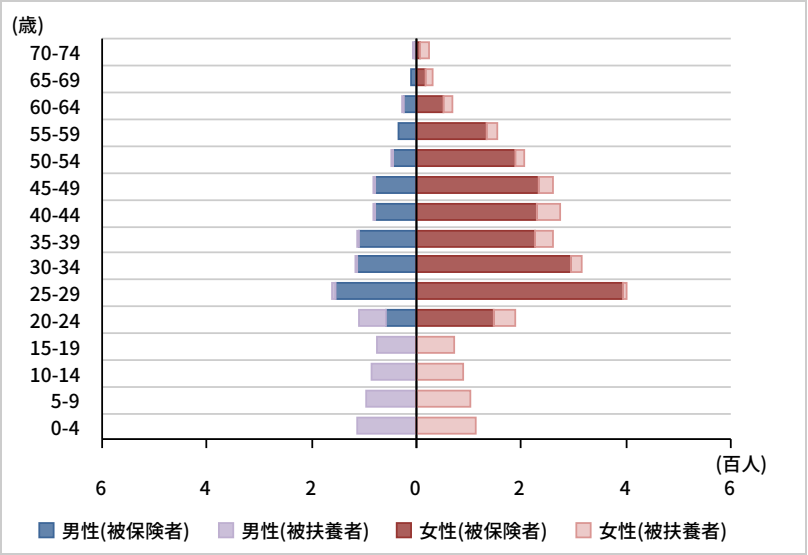
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	7	0	7	0	7	0
	保健師等	7	0	7	0	7	0
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,049 / 1,206 = 87.0 %					
	被保険者	1,040 / 1,040 = 100.0 %					
	被扶養者	9 / 166 = 5.4 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	66 / 220 = 30.0 %					
	被保険者	66 / 220 = 30.0 %					
	被扶養者	0 / 0 = - %					

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	11,712	4,554	11,482	4,364	12,597	4,640
	特定保健指導事業費	2,082	809	1,785	678	1,785	657
	保健指導宣伝費	3,134	1,219	574	218	573	211
	疾病予防費	12,671	4,927	19,822	7,534	20,021	7,374
	体育奨励費	0	0	0	0	0	0
	直営保養所費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	小計 …a	29,599	11,508	33,663	12,795	34,976	12,883
	経常支出合計 …b	1,133,390	440,665	1,272,318	483,587	1,433,738	528,080
	a/b×100 (%)	2.61		2.65		2.44	

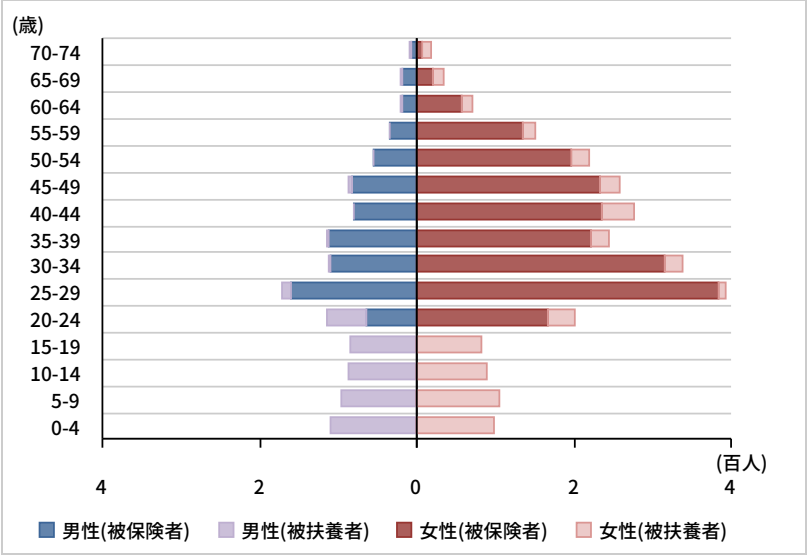
令和3年度



令和4年度



令和5年度



男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人
20～24	53人	25～29	148人	20～24	59人	25～29	154人	20～24	63人	25～29	159人
30～34	111人	35～39	109人	30～34	113人	35～39	109人	30～34	109人	35～39	111人
40～44	82人	45～49	77人	40～44	80人	45～49	80人	40～44	81人	45～49	83人
50～54	35人	55～59	34人	50～54	45人	55～59	36人	50～54	56人	55～59	35人
60～64	23人	65～69	12人	60～64	23人	65～69	12人	60～64	19人	65～69	19人
70～74	4人			70～74	3人			70～74	6人		

女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人
20～24	164人	25～29	375人	20～24	149人	25～29	393人	20～24	167人	25～29	384人
30～34	264人	35～39	241人	30～34	294人	35～39	225人	30～34	316人	35～39	221人
40～44	232人	45～49	226人	40～44	228人	45～49	234人	40～44	236人	45～49	232人
50～54	174人	55～59	116人	50～54	187人	55～59	132人	50～54	197人	55～59	135人
60～64	43人	65～69	16人	60～64	51人	65～69	17人	60～64	58人	65～69	21人
70～74	2人			70～74	7人			70～74	7人		

男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	117人	5～9	89人	0～4	114人	5～9	96人	0～4	110人	5～9	95人
10～14	81人	15～19	76人	10～14	86人	15～19	76人	10～14	88人	15～19	85人
20～24	53人	25～29	9人	20～24	52人	25～29	7人	20～24	50人	25～29	11人
30～34	4人	35～39	2人	30～34	2人	35～39	3人	30～34	2人	35～39	3人
40～44	3人	45～49	2人	40～44	2人	45～49	3人	40～44	1人	45～49	5人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	2人	55～59	0人	50～54	1人	55～59	1人
60～64	1人	65～69	0人	60～64	3人	65～69	0人	60～64	2人	65～69	2人
70～74	2人			70～74	2人			70～74	2人		

女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	111人	5～9	101人	0～4	112人	5～9	102人	0～4	99人	5～9	105人
10～14	87人	15～19	65人	10～14	90人	15～19	71人	10～14	88人	15～19	83人
20～24	46人	25～29	17人	20～24	42人	25～29	8人	20～24	35人	25～29	10人
30～34	22人	35～39	41人	30～34	19人	35～39	33人	30～34	23人	35～39	23人
40～44	40人	45～49	27人	40～44	43人	45～49	26人	40～44	40人	45～49	24人
50～54	20人	55～59	12人	50～54	18人	55～59	20人	50～54	22人	55～59	16人
60～64	18人	65～69	17人	60～64	18人	65～69	13人	60～64	13人	65～69	13人
70～74	16人			70～74	16人			70～74	12人		

基本情報から見える特徴	dummy
-------------	-------

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴 1

事業の一覧
職場環境の整備
加入者への意識づけ
個別の事業
事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価	
				資格	対象 事業所	性別	年 齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備														
加入者への意識づけ														
個別の事業														

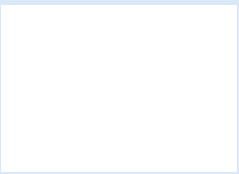
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		-	-	-

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
生活習慣病に対する医療費の削減を図る

事業全体の目標
特定健康診査、特定保健指導の実施率を向上させる

事業の一覧	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
特定健康診査事業	情報提供の際にICTを活用・対面での健診結果の情報提供
保健指導宣伝	保健指導宣伝費
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者・被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導の実施
疾病予防	疾病の重症化予防
疾病予防	後発医薬品の利用促進
疾病予防	がん検診の実施
疾病予防	健康づくりの働きかけ

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者				注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標															アウトカム指標		
職場環境の整備																	
加入者への意識づけ																	
特定健康診査事業	2,3	新規	情報提供の際にICTを活用・対面での健診結果の情報提供	全て	男女	40～74	被保険者	1	イ,エ,オ	-	ア,イ	-	外部委託しない	15,466	・ハイリスク者を抽出 ・個別データを作成 ・対象者へデータ提供 ・対象者へ受診勧奨通知の発行	加入者へ生活習慣病への意識づけを行い、医療費削減へつなげる	該当なし
	対象者へのデータ提供を実施(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：90%)-													医療費を削減する(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：0.3%)-			
保健指導宣伝	2,7	新規	保健指導宣伝費	全て	男女	40～74	加入者全員,基準該当者	1	ア,イ,エ,キ	-	ス	-	外部委託しない	3,134	・医療費通知の発行 ・後発医薬品差額通知発行 ・後発医薬品希望カード作成 ・重症化予防受診勧奨通知の発行	加入者への意識づけを行い、医療費の削減をはかる	該当なし
	医療費通知の発行(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-													医療費削減(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：0.3%)-			
	後発医薬品差額通知の発行(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-													後発医薬品の使用率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：73.0%)-			
	後発医薬品希望カードの作成(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-													後発医薬品の使用率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：73.0%)-			
	重症化予防受診勧奨通知の発行(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-													医療費削減(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：0.3%)-			
個別の事業																	
特定健康診査事業	3	新規	特定健康診査(被保険者・被扶養者)	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ,ウ,キ	-	ア,キ	-	外部委託しない	12,597	・生活習慣病健診（被保険者）：5月～2月カラダテラス、日本予防医学協会、東埼玉総合病院で受診 ・被扶養者：指定医療機関で受診	被扶養者の特定健診受診率向上	該当なし
	案内通知の発行率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)特定健診対象の被扶養者へ案内通知を発行し受診を促す													被扶養者の特定健診受診率向上(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：2%)-			
														被保険者の特定健診受診率向上(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：90%)-			
特定保健指導事業	4	新規	特定保健指導の実施	全て	男女	40～74	基準該当者	3	イ,エ,オ,キ	-	ア,キ,コ	-	外部委託しない	1,785	・年間を通して、動機付け支援を実施 ・年間を通して、積極的支援を実施	被保険者と被扶養者の特定保健指導の実施率向上及び対象者割合の減少	該当なし
	保健指導案内通知の発行(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)特定保健指導対象者へ案内通知を発行し受診を促す													被保険者保健指導の実施(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：10%)-			
														被扶養者保健指導の実施(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：5%)-			
疾病予防	3	新規	疾病の重症化予防	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ア	-	ア	-	外部委託しない	20,021	・インフルエンザ予防接種11月～1月 ・糖尿病性腎症等の生活習慣病対象者の抽出及び把握	生活習慣病にかかる医療費の削減	該当なし
	生活習慣病医療費の削減(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：0.3%)-													生活習慣病医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：0.3%)生活習慣病（糖尿病）の1人当医療費を把握し、削減する			
	インフルエンザ予防接種実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：90%)被保険者の希望者に、各事業所で実施する													インフルエンザ予防接種(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：2,850人)被保険者の接種希望者に対し、費用を補助し確実に接種できる体制を確保する			
	7	新規	後発医薬品の規利用促進	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	キ	-	ア	-	外部委託しない	258	・希望カード作成 ・ジェネリック差額通知の発行（年1回） ・削減効果額分析	後発医薬品の使用率を向上させ、医療費の削減をはかる	該当なし
	使用率を向上させる(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：73%)-													医療費削減をはかる(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：0.3%)-			
	3	新規	がん検診の実施	全て	男女	20～74	被保険者	1	ウ	-	ア	-	外部委託しない	77	・コメディックスにて案内通知	加入者へ意識づけを行い。医療費の削減をはかる。	該当なし
	実施人数を増やす(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：14人)ホームページで案内通知を行い、費用の一部（2,204円～3,577円）を補助することで、発症リスクを減らす。													悪性疾患有病者割合を減らす(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：4.0%)-			
5	新規	健康づくりの規働きかけ	全て	男女	20～74	被保険者	2	キ,シ	-	ア,イ	-	外部委託しない	0	・ストレスチェックの実施 ・喫煙アンケートの実施 ・喫煙場所の撤去	メンタル関連の疾病リスク者を事前に把握し、フォローする。喫煙に対する意識改革および機会をなくし健康づくりの働きかけを行う。	該当なし	
ストレスチェックの実施(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：80.0%)-													メンタル系疾患の対象者を減らす(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：6.0%)メンタル系疾患のうち、割合高い神経症性ストレス障害の有病者数を減少させる。				

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年 齢											対象者
アウトプット指標														アウトカム指標			
喫煙アンケートの実施(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：50%)-																	

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1．健保組合 2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3．健保組合と事業主との共同事業

注4) ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ＩＣＴの活用（情報作成又は情報提供でのＩＣＴ活用など） オ．専門職による対面での健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ．定量的な効果検証の実施 ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ．事業主と健康課題を共有 ス．その他

注5) ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ．他の保険者との共同事業 オ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ．自治体との連携体制の構築 キ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク．保険者協議会との連携体制の構築
ケ．その他の団体との連携体制の構築 コ．就業時間内も実施可（事業主と合意） サ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス．その他

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
1	情報提供の際にICTを活用・対面での健診結果の情報提供
2	保健指導宣伝費
個別の事業	
1	特定健康診査（被保険者・被扶養者）
2	特定保健指導の実施
3	疾病の重症化予防
4	後発医薬品の利用促進
5	がん検診の実施
6	健康づくりの働きかけ

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1	事業名	情報提供の際にICTを活用・対面での健診結果の情報提供									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	2,3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	新規		
	実績	2, 3-ア		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない									
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
注2)プロセス分類	計画	イ,エ,オ	実施方法	計画				予算額	15,466千円		
	実績	イ,エ,オ		実績							
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画				決算額	10,504 千円		
	実績	ア,イ		実績							
実施計画 (令和5年度)		・ハイリスク者を抽出 ・個別データを作成 ・対象者へデータ提供 ・対象者へ受診勧奨通知の発行									
振り返り		実施状況・時期 ・健診実施時期：5月～翌年2月 ・受診者数：1174名（被保険者数：1142名、被扶養者数：32名） ・受診率：87.4％（被保険者：95.5％、被扶養者：21.6％）									
		成功・推進要因 ・全体の受診率は、昨年度より上昇した。昨年の課題であった被扶養者の受診率も上昇した。									
		課題及び阻害要因 -									
評価		4. 80%以上									
事業目標											

加入者へ生活習慣病への意識づけを行い、医療費削減へつなげる			
アウトプット指標 対象者へのデータ提供を実施（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：90%/90% 【達成度】 100.0%） -[-]			
アウトカム指標 医療費を削減する（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：0.3%/-114.6% 【達成度】 0%） -[R4年度医療費：585,797,500円 R5年度医療費：671,311,500円（+85,514,000円） 前年比：114.6%]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

2	事業名	保健指導宣伝費							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	2,7-ア,7-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	新規
	実績	2,7-ア,7-イ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員,基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員,基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ア,イ,エ,キ	実施方法	計画				予算額	3,134千円
	実績	ア,イ,エ,キ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画				決算額	181 千円
	実績	ス		実績					

実施計画 (令和5年度)	・医療費通知の発行 ・後発医薬品差額通知発行 ・後発医薬品希望カード作成 ・重症化予防受診勧奨通知の発行		
振り返り	実施状況・時期	・医療費通知（1回/年）：2,575件 ・後発医薬品差額通知（1回/年）：97件 ・後発医薬品希望カード作成：コメディックスに掲載 ・重症化予防受診勧奨通知の発行：1回	
	成功・推進要因	-	
	課題及び阻害要因	-	
評価	4．80%以上		
事業目標			
加入者への意識づけを行い、医療費の削減をはかる			
アウトプット指標 医療費通知の発行（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回　【達成度】100.0%）-[-] 後発医薬品差額通知の発行（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回　【達成度】100.0%）-[-] 後発医薬品希望カードの作成（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回　【達成度】100.0%）-[-] 重症化予防受診勧奨通知の発行（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：1回/0回　【達成度】0.0%）-[-]			
アウトカム指標 医療費削減（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：0.3%/-114.6%　【達成度】0%）-[-] 後発医薬品の使用率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：73.0%/84.16%　【達成度】115.3%）-[-] 後発医薬品の使用率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：73.0%/84.16%　【達成度】115.3%）-[-] 医療費削減（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：0.3%/-114.6%　【達成度】0%）-[-]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

【個別の事業】

1	事業名	特定健康診査（被保険者・被扶養者）							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	新規
	実績	3-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,キ	実施方法	計画			予算額	12,597千円	
	実績	イ,ウ,キ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,キ	実施体制	計画			決算額	10,504 千円	
	実績	ア,キ		実績					
実施計画 (令和5年度)		・生活習慣病健診（被保険者）：5月～2月 カラダテラス、日本予防医学協会、 東埼玉総合病院で受診 ・被扶養者：指定医療機関で受診							
振り返り		実施状況・時期 ・健診実施時期：5月～翌年2月 ・受診者数：1174名（被保険者数：1142名、被扶養者数：32名） ・受診率：87.4%（被保険者：95.5%、被扶養者：21.6%） 成功・推進要因 ・全体の受診率は、昨年度より上昇した。昨年の課題であった被扶養者の受診率も上昇した。 課題及び阻害要因 -							
評価		4. 80%以上							
事業目標									

被扶養者の特定健診受診率向上			
アウトプット指標 案内通知の発行率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） 特定健診対象の被扶養者へ案内通知を発行し受診を促す[-]			
アウトカム指標 被扶養者の特定健診受診率向上（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：2%/4.2% 【達成度】 210.0%） -[令和4年度：17.4% 令和5年度：21.6%（+4.2）] 被保険者の特定健診受診率向上（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：90%/95.5% 【達成度】 106.1%） -[令和4年度：94.3% 令和5年度：95.5%（+1.2）]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

2	事業名	特定保健指導の実施									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	4-ア,4-オ	実施主体	計画	3．健保組合と事業主との共同事業			予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	新規
	実績	4-ア,4-オ		実績	3．健保組合と事業主との共同事業						
共同事業		共同事業ではない									
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	イ,エ,オ,キ	実施方法	計画				予算額	1,785千円		
	実績	イ,エ,オ,キ		実績							
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,キ,コ	実施体制	計画				決算額	321 千円		
	実績	ア,キ,コ		実績							
実施計画 (令和5年度)		・年間を通して、動機付け支援を実施 ・年間を通して、積極的支援を実施									

振り返り	実施状況・時期	- 実施時期：5月～翌年10月 - 対象者：175人（被保険者：175人、被扶養者：0人） - 積極的支援対象者：73人 - 動機付け支援対象者：102人
	成功・推進要因	- 案内通知を早めに発行した結果、受診率は上昇した。 - 受診先の選択肢を増やしたことで、受診率アップにつながったと思われる。 - 未受診者への受診勧奨回数を増やすことで、受診率の上昇へつなげることができた。
	課題及び阻害要因	-

評価	3．60%以上
----	---------

事業目標

被保険者と被扶養者の特定保健指導の実施率向上及び対象者割合の減少

アウトプット指標	保健指導案内通知の発行（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：100%/100% 【達成度】100.0%）特定保健指導対象者へ案内通知を発行し受診を促す[-]
アウトカム指標	被保険者保健指導の実施（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：10%/12.6% 【達成度】126.0%）-[-] 被扶養者保健指導の実施（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：5%/0% 【達成度】0%）-[保健指導対象者がいなかった。]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

3事業名 疾病の重症化予防

健康課題との関連	該当なし
----------	------

分類

注1)事業分類	計画	3-カ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	3-カ		実績	1．健保組合				

共同事業	共同事業ではない
------	----------

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ア	実施方法	計画	-	予算額	20,021千円		

	実績	ア		実績	-		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	-	決算額	18,652 千円
	実績	ア		実績	-		
実施計画 (令和5年度)	・インフルエンザ予防接種11月～1月 ・糖尿病性腎症等の生活習慣病対象者の抽出及び把握						
振り返り	実施状況・時期		・実施時期：11月～翌1月 ・インフルエンザ予防接種：2,555人 ・糖尿病性腎症等の生活習慣病対象者の抽出及び把握を実施。 ・人間ドック受診費用の補助を開始				
	成功・推進要因		・インフルエンザ予防接種は、87.8%の実施率となり疾病予防につなげた。				
	課題及び阻害要因		コロナ禍が明け、医療機関受診率が大幅に上昇しているため、医療費削減にはつながらなかった。				
評価	4．80%以上						
事業目標							
生活習慣病にかかる医療費の削減							
アウトプット指標		生活習慣病医療費の削減（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：0.3%/-117.7% 【達成度】0%）-[令和4年度：36,377,730円 令和5年度：42,821,420円（+6,443,690円） 前年比：117.7%] インフルエンザ予防接種実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：90%/87.8% 【達成度】97.6%）被保険者の希望者に、各事業所で実施する[-]					
アウトカム指標							
生活習慣病医療費（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：0.3%/-111.7% 【達成度】0%）生活習慣病（糖尿病）の1人当医療費を把握し、削減する[令和4年度：3,033円 令和5年度：3,388円（+355円） 前年比：111.7%] インフルエンザ予防接種（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：2,850人/2,555人 【達成度】89.6%）被保険者の接種希望者に対し、費用を補助し確実に接種できる体制を確保する[-]							
外部委託先	計画	外部委託しない					
	実績	委託の有無	外部委託しない				

4	事業名	後発医薬品の利用促進
健康課題との関連	該当なし	
分類		

注1)事業分類	計画	7-ア,7-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	7-ア,7-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ	実施方法	計画				予算額	258千円
	実績	キ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画				決算額	181 千円
	実績	ア		実績					
実施計画 (令和5年度)	・希望カード作成 ・ジェネリック差額通知の発行（年1回） ・削減効果額分析								
振り返り	実施状況・時期		・後発医薬品差額通知（1回/年）：97件 ・後発医薬品希望カード作成：コメディックスに掲載 ・削減効果額分析の実施						
	成功・推進要因		・差額通知者97名のうち7名が、後発医薬品への切替を実施されたが。全体の医療費が増加したため調剤医療費の削減にはつながらなかった。						
	課題及び阻害要因		-						
評価	3. 60%以上								
事業目標									
後発医薬品の使用率を向上させ、医療費の削減をはかる									
アウトプット指標		使用率を向上させる（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：73%/84.16% 【達成度】 115.3%） -[-]							
アウトカム指標		医療費削減をはかる（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：0.3%/-114.6% 【達成度】 0%） -[R4年度医療費：585,797,500円 R5年度医療費：671,311,500円（+85,514,000円） 前年比：114.6%]							
外部委託先	計画	外部委託しない							

	実績	委託の有無	外部委託しない					
--	----	-------	---------	--	--	--	--	--

5	事業名	がん検診の実施							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない							
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画			予算額	77千円	
	実績	ウ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画			決算額	0千円	
	実績	ア		実績					
実施計画 (令和5年度)		・ コメディックスにて案内通知							
振り返り	実施状況・時期		・ 実施時期：5月～翌年3月 ・ 受診者数：0人						
	成功・推進要因		-						
	課題及び阻害要因		・ ホームページにて案内を行ったが、受診者はいなかった。周知方法の改善が必要。						
評価		2. 40%以上							
事業目標									

加入者へ意識づけを行い。医療費の削減をはかる。

アウトプット指標

実施人数を増やす（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：14人/0人　【達成度】 0%）ホームページで案内通知を行い、費用の一部（2,204円～3,577円）を補助することで、発症リスクを減らす。 [-]

アウトカム指標

悪性疾患有病者割合を減らす（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：4.0%/17.0%　【達成度】 98.3%） -[令和4年度：15.6% 令和5年度：17.0%（+1.4）]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

6事業名	健康づくりの働きかけ								
健康課題との関連	該当なし								
分類									
注1)事業分類	計画	5-エ,5-オ	実施主体	計画	2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	5-エ, 5-オ		実績	2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ 74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	キ,シ	実施方法	計画				予算額	0千円
	実績	キ,シ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画				決算額	0 千円
	実績	ア,イ		実績					

実施計画 (令和5年度)	・ストレスチェックの実施 ・喫煙アンケートの実施 ・喫煙場所の撤去		
振り返り	実施状況・時期	・実施時期：5月～翌年3月	
	成功・推進要因	-	
	課題及び阻害要因	・事業主主体での実施のため、健保でのフォロー体制を検討する必要がある。	
評価	3．60%以上		
事業目標			
メンタル関連の疾病リスク者を事前に把握し、フォローする。喫煙に対する意識改革および機会をなくし健康づくりの働きかけを行う。			
アウトプット指標 ストレスチェックの実施（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：80.0%/86.2% 【達成度】107.8%）-[-] 喫煙アンケートの実施（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：50%/53.0% 【達成度】106.0%）-[-]			
アウトカム指標			
メンタル系疾患の対象者を減らす（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：6.0%/7.89% 【達成度】97.9%）メンタル系疾患のうち、割合高い神経症性ストレス障害の有病者数を減少させる。[令和4年度：7.15% 令和5年度：7.89%（+0.74）]			
外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）
 オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
 ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築
 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
 シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス. その他

STEP 4 - 2 期末評価

事業全体の目的と目標の確認

事業全体の目的	生活習慣病に対する医療費の削減を図る
事業全体の目標	特定健康診査、特定保健指導の実施率を向上させる

健康課題ごとの振り返り

健康課題と紐付いていない事業一覧

該当なし（これまでの経緯で実施する事業）									
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度

該当なし									
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	情報提供の際にICTを活用・対面での健診結果の情報提供	対象者へのデータ提供を実施	100.0%	100.0%	100.0%	医療費を削減する	-	-	0%
						1人当医療費の削減する	86.9%	95.9%	-
2	保健指導宣伝費	医療費通知の発行	100.0%	100.0%	100.0%	医療費削減	-	-	0%
		後発医薬品差額通知の発行	100.0%	100.0%	100.0%	後発医薬品の使用率	111.9%	109.3%	115.3%
		後発医薬品希望カードの作成	100.0%	100.0%	100.0%	後発医薬品の使用率	111.9%	109.3%	115.3%
		重症化予防受診勧奨通知の発行	100.0%	100.0%	0.0%	医療費削減	-	-	0%
						1人当医療費の削減	86.9%	95.9%	-
						1人当医療費の削減	86.9%	95.9%	-
3	特定健康診査（被保険者・被扶養者）	案内通知の発行率	100.0%	100.0%	100.0%	被扶養者の特定健診受診率向上	141.5%	116.0%	210.0%
						被保険者の特定健診受診率向上	95.1%	94.9%	106.1%
4	特定保健指導の実施	保健指導案内通知の発行	100.0%	100.0%	100.0%	被保険者保健指導の実施	-	-	126.0%
						被扶養者保健指導の実施	-	-	0%
						実施率の向上	36.3%	30.5%	-
5	疾病の重症化予防	生活習慣病医療費の削減	62.9%	95.2%	0%	生活習慣病医療費	-	-	0%

		インフルエンザ予防接種実施率	103.3%	101.9%	97.6%	インフルエンザ予防接種	-	-	89.6%
		人間ドック受診の推奨	-	100.0%	-	1人当医療費を減らす	92.1%	95.4%	-
						インフルエンザ予防接種実施率向上	103.3%	101.9%	-
						人間ドック受診者割合を増やす	-	2.0%	-
6	後発医薬品の利用促進	使用率を向上させる	111.9%	109.3%	115.3%	医療費削減をはかる	-	-	0%
						調剤医療費の削減	93.1%	84.8%	-
7	がん検診の実施	実施人数を増やす	0.0%	0%	0%	悪性疾患有病者割合を減らす	94.4%	96.2%	98.3%
8	健康づくりの働きかけ	ストレスチェックの実施	103.3%	106.4%	107.8%	メンタル系疾患の対象者を減らす	94.2%	94.4%	97.9%
		喫煙アンケートの実施	100.0%	100.0%	106.0%				

第2期のデータヘルス計画への取り組みに対する振り返り

No	設問	回答		評価理由（成功要因や阻害要因など）
		←全くできなかった	よくできた→	
1	STEP1-3基本分析において、自組合集団としての健康状態を客観的に可視化できたか？			令和2年設立の組合で、第2期の期中であったため、自組合のデータの蓄積がなく、可視化することは困難であった。
2	STEP2健康課題の抽出において、適切に健康課題を抽出することができたか？			令和2年設立の組合で、第2期の期中であったため、自組合のデータの蓄積がなく、健康課題を抽出することは困難であった。
3	STEP2健康課題の抽出において、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることができたか？			令和2年設立の組合で、第2期の期中であったため、自組合のデータの蓄積がなく、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることは困難であった。
4	STEP3 保健事業の実施計画において、事業全体の目的や目標を適切に掲げることができたか？			第2期の期中に設立だったため、目的や目標を適切に掲げることができなかった。
5	STEP3 保健事業の実施計画において、「保健事業の基盤」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？			第2期の期中に設立だったため、適切な立案はできなかった。
6	STEP3 保健事業の実施計画において、「個別の事業」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？			第2期の期中に設立だったため、適切な立案はできなかった。
7	STEP3 保健事業の実施計画において、保健事業の評価指標を適切に設定することができたか？			第2期の期中に設立だったため、適切な設定はできなかった。
8	STEP4-1 事業報告において、年次の事業進捗やアウトプット、アウトカムを評価することができたか？			年次の評価はある程度できた。
9	STEP4-1 事業報告を理事会や組合会での報告に活用し、次年度の事業計画に活用することができたか？			設立後日が浅く、保健事業は最低限のことしかできていないが、少しは活用できた。
10	保健事業を実施するにあたって事業主とのコラボヘルスの体制をどの程度構築することができたか？			コラボヘルスとまではいかないが、話し合いの場を設け、保健事業等の見直しや計画などは行えるようになった。
11	加入者のヘルスリテラシー向上に向けた取り組みを行うことができたか？			設立からまだ4年なので、そこまでの取組はできていない。

事業全体の達成状況に関する総括（自由記述）

-